

令和7年度 新人看護職員研修「医療機関受入研修」実施計画

<研修に関する連絡>

病院名	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院		
所在地	広島市中区基町7-33		
担当者名	瀬良 栄子	役職名	教育担当副看護部長
T E L	082-221-2291	F A X	082-221-2271
自施設HP掲載の有無 (○印で囲んでください)	㊟り・なし	掲載場所	広島市民病院>HP>看護部
新人看護職員とともに指導看護師の参加について (○印で囲んでください)	㊟可・不可		
申込方法 その他	下記のメールにてお問合せください E-mail 【hotSPACE@city-hosp.naka.hiroshima.jp】		

<研修内容>

実施予定日時	テーマ	主な内容	受入可能人数	申込期限
4月9日 9:00~17:00	糖尿病看護の基礎 インスリンの取り扱い 血糖測定方法 口腔・鼻腔・気管吸引 吸引デモンストレーション スタンダードプリコーションの実際	糖尿病の基礎知識 糖尿病患者の治療と看護 インスリンの管理方法/インスリン投与時の注意点/起こりやすいIA 血糖測定の方法や注意点について 吸引の目的/吸引のリスクと吸引の実際 口腔・鼻腔・気管吸引実施のデモンストレーション/開放式・閉鎖式気管内吸引の手順と注意点 標準予防策と感染経路別予防策/必要な防護具の選択と正しい着脱	10名	R7年 3月17日
4月10日 9:00~16:30	心電図モニターの取り扱い 医療機器の取り扱い T-PASS 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	心電図モニターの目的・種類・仕組み・使用手順・注意点・アラームの違い モニターアラームの対応 シリンジや針、輸液ポンプ、シリンジポンプの機能と取り扱い方 予測予防安全対策の重要性	10名	R7年 3月17日
4月11日 9:00~15:00	バイタルサインの基礎 酸素療法の基礎 認知症看護の基礎	バイタルサインの知識と方法の理解 バイタルサインをアセスメントに繋げる 酸素療法の目的と適応	10名	R7年 3月17日

		酸素投与システムの種類・ボンベの取り扱い 認知症患者の症状に合わせた看護		
4月 14日 9:00～15:40	嚥下機能・誤嚥防止・ポジショニング 口腔ケアと食事介助・義歯の取り扱い 医療安全 麻薬の管理と取り扱い	摂食嚥下の基本的知識 口腔のアセスメントとケアの実際 食事援助方法・経管栄養の目的と方法 新人看護師が起こしやすいIA 事例を通してIAを考える 個人情報と情報漏洩 麻薬の基本的な取り扱い方 医療用麻薬とは 麻薬の取り扱いに関する事例紹介	10名	R7年 3月17日
5月 12日 9:00～12:30	IV ナース研修 レベル1 - ①	静脈注射に関する看護師の法的責任について 静脈注射と安全対策 静脈注射における感染対策 採血の実際(演習も含む)	10名	R7年 3月17日
5月 13日 9:00～12:30	IV ナース研修 レベル1 - ②	輸液療法に関する知識と静脈注射に伴う合併症と対応 注射薬の基礎知識 静脈注射に伴う合併症と対応 静脈注射の実際(演習)	10名	R7年 3月17日
6月 12日 9:00～16:45	呼吸・循環・意識・消化器のフィジカルアセスメント	呼吸・循環・意識・消化器の解剖生理 呼吸・循環・意識・消化器の身体診察技術 呼吸・循環・意識・消化器の身体診察技術で得た情報をアセスメントへ繋げる思考プロセス	20名	R7年 3月17日
6月 27日 9:00～11:30	IV ナース研修 レベル2	麻薬の静脈注射・点滴静脈注射 循環動態への影響が大きい薬物	10名	R7年 3月17日
7月 3日 9:00～14:30	IV ナース研修 レベル3	抗がん剤の基礎知識 造影剤の基礎知識 輸血療法の基礎知識	10名	R7年 3月17日
8月 26日 9:00～16:00	スキンテア 新生児・小児のフィジカルアセスメント 業務員との連携 臨床推論 看護倫理	創傷治癒過程 褥瘡発生要因とリスクアセスメント 褥瘡予防ケアと発生時のケア 新生児・小児の解剖生理・身体診察技術、フィジカルアセスメントが理解できる 看護師と業務員との連携とタスクシェアについて考える 臨床推論の思考プロセスを理解できる 倫理事例を通して倫理問題の解決プロ	10名	R7年 3月17日

		セスが理解できる		
9月 18日 9:00～14:45	死生観 緩和ケア エンゼルメイク	死生観「死」のシミュレーション 緩和ケア エンゼルメイク	10名	R7年 3月17日
10月 6日 9:00～16:45	心肺蘇生	一次救命処置 二次救命処置 気管挿管の介助方法 除細動器の使い方 心停止のアルゴリズム	10名	R7年 3月17日